一、本部報告　　菊川忠雄

一、別編、全国労働組合同盟大会報告、労総、（三）特殊報告は日本労働組合

(1) 一般情勢報告、本部に関する報告を除く、全般に亘って説明報告をなす。

（一）世界資本主義の情勢報告、（二）日本資本主義の情勢概観、

（三）日本労働運動の大勢、（四）全国労働の運動概観

(2) 本部会務報告。

(3) 情勢報告、中。（二）前年度大会決議事項実行に関する報告、（三）人事報告、（四）統制委員会報告。

(4) 各部報告

(5) 時局対策報告

各地方情勢報告

一、(1) 東京地方聯合会報告　　[illegible]

（要点）東京聯合会は本質的には聯絡機関である為めに之に伴ふ弊害があった。

(2) 大阪聯合会報告　　山内鉄吉

（要点）新組織六組合、準備会二、新組合員三六四二名増加す。

(3) 神奈川縣聯合会報告　　岡本[illegible]

（要点）従来本聯合会は聯合会幹部のルーズな統制により、統制は極度に乱れて居たが、最近非階級的幹部を除名して本部確立に努め、今は組合の産業別整理に協力して居る。組合員数三五〇〇名、争議件数四五件、組織件数七六件、約七分の勝利。組織部は従来争議を持ち込みに依って、所謂争議ブローカー的であったものを清算して、特別委員会を組織して組織部を確立した。又特に語るべきは、

。エド・ファインメン排撃全盟に加はり、各友誼団体と共に闘った。

。労働クラブ問題には本聯合会七組合は反対の立場を採り、臨時大会開催要求に対し中止命令有りて同当扱いした。